



はやね はやおき 朝ごはん テレビを止めて外遊び

きずな

～きらきら ににこ いきいき～

平成29年度
別海町立上西春別小学校
学校だより No.11
平成29年12月22日
発行責任者
校長 奥村 繁義

行く年 来る年

2017年を表す漢字は「北」——。日本漢字能力検定協会が「今年の漢字」を京都・清水寺で発表しました。北朝鮮のミサイル発射や核実験の強行、九州北部豪雨、北海道産のじゃがいもの不作、北海道日本ハムの大谷翔平選手 や清宮幸太郎選手、競馬キタサンブラックなどが選ばれた理由として挙げられました。

私の中では、今年を表す漢字は「輝」としたいと思います。これは、上西春別小学校の子どもたちがいろいろなところで活躍し、「輝く姿」をたくさん見せてくれたからです。子どもたちの輝く姿は、本校の合い言葉「きらきら」「ににこ」「いきいき」に代表されるように、今後も益々増えていくことを願っています。皆さんが考える今年を表す漢字は、いったいどんな一字になるでしょうか。

さて、学校では大きな事故もなく、地域の皆様や家庭の皆様に支えられて、安心・安全な生活を送ることができました。昨年度から引き続き、「自分の考えをもち、表現し合う子どもの育成」に重点をおいて、主体的・意欲的に学習することを継続して指導してまいりました。子どもたちの努力や頑張りが、学校行事を始め、いろいろな面に発揮されていたと考えております。右の写真は、一部の学年の作品ですが、教室前に展示していて他の学年の子どもたちも足を止めて鑑賞しています。作品づくりを通して、自分の考えを表現する活動の一例です。さらに、一人一人の子どもがそれぞれの夢や目標に向かって努力できるように指導支援をしてまいります。

明日から冬休みが始まりますが、冬休みは大晦日、そして元旦といった1年の節目を迎えます。各ご家庭によって過ごし方は少しずつ違うのですが、どのご家庭でもこの節目の機会を生かして、食卓を囲みながら家族がそれぞれに改まってこの1年を振り返り、新しい年への抱負を語り合うことと思います。ぜひ、時間をとって、日常生活のことや学習の進め方などの対話を深めてほしいと思います。また、便利に快適になったとはいえ、冬の生活特有の厳しさがあります。この冬の生活を乗り切るために、家族の一員として果たさなければならない役割をしっかりと担わせてください。寒さや降雪のために大変になるさまざまな家の仕事を手伝わせることで、北で暮らす者としてのたくましさを身につけて欲しいと願っています。

皆様方におかれましては、新しい年を迎える準備でお忙しいことと存じますが、来年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

校長 奥村 繁義



1年生 『お寿司やお菓子』



2年生 『まどをひらいて』



4年生 『楽しかった正美公園遠足』



6年生 『12年後のわたし』

